

第65期 中間報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

CONTENTS

トップメッセージ	P1
部門別の概況・財務ハイライト	P2
トピックス	P3
連結財務諸表	P4
会社概要・株式の状況	P5
製品紹介	P6



株式会社 鶴見製作所

証券コード：6351

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申しあげます。

このたび、当社グループは、第65期中間決算（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）を終了しました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策等を背景に企業収益や雇用情勢の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税率引き上げ後の個人消費は依然として回復に弱みが見られました。

また、海外経済におきましては、米国では好調な企業業績に加え、雇用情勢や個人消費の回復に伴い景気は緩やかな改善傾向にありましたが、欧州諸国の金融不安の長期化や中国をはじめとした新興国経済の減速など、全体として景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、新中期3ヶ年経営計画「Execution2018」のもと、設定した課題を着実に実行し、結果を出すべく進めました。

国内部門では、建設機械市場におきまして、建設工事の停滞感があり、レンタル業者向け工事用水中ポンプなどの売上高が減少しましたが、近年増加しておりますゲリラ豪雨対策用の中・大型水中ポンプや浸水被害の復旧作業向け汎用水中ポンプについては、需要の高まりにより、売上高は増加しました。

設備機器市場におきましては、官公庁や工場向けの製造業の設備投資が増加傾向にあり、設備用水中ポンプの売上高は堅調に推移しました。

海外部門では、北米市場におきまして、鉱山市場及びビル設備市場の売上高は堅調に推移しましたが、レンタル市場及び建設市場において一部地域で干ばつの影響を受け、需要が低迷しました。

アジア市場におきましては、新興国の通貨安の影

響等により購買力が低下した結果、需要が足踏み状態となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、176億91百万円と前年同期比4.1%の減収、営業利益は、19億81百万円と前年同期比0.6%の増益、また、為替等の影響により経常利益は、21億68百万円と前年同期比12.5%の減益、中間純利益は、14億19百万円と前年同期比8.8%の減益となりました。

なお、中間配当金につきましては、前中間期と同様の1株につき10円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移するものと思われませんが、欧州及び中近東における地政学的リスクの影響、中国経済の下振れ、欧州経済の悪化などが懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。その中で当社グループにおきましては、真のグローバル企業として確固たる体制を築くべく、引き続き業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



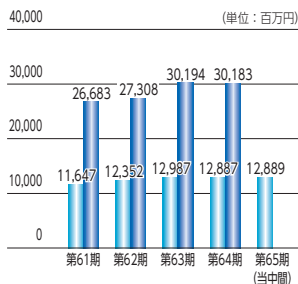
平成27年12月

代表取締役社長

辻本 治

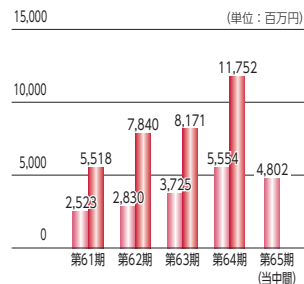
●国内部門

■ 連結 (中間) ■ 連結 (通期)

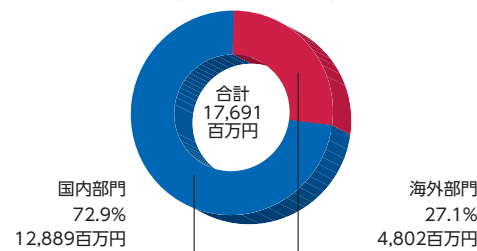


●海外部門

■ 連結 (中間) ■ 連結 (通期)



部門別売上構成比率



国内部門につきましては、建設機械市場におきまして、建設工事の停滞感があり、レンタル業者向け工事中水中ポンプや高圧洗浄機の売上高が減少しましたが、近年増加しておりますゲリラ豪雨対策用の雨水排水設備向け大容量タイプの中・大型水中ポンプや浸水被害の復旧作業向け汎用水中ポンプについては、需要の高まりにより、売上高は増加しました。

設備機器市場におきましては、官公庁や工場向けの製造業の設備投資が増加傾向にあり、設備用水中ポンプの売上高は堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は、128億89百万円と前年並みとなりました。

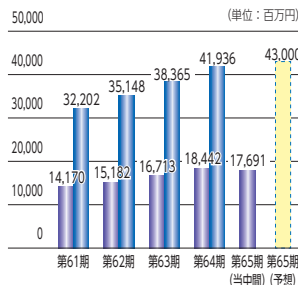
海外部門につきましては、北米市場におきまして、引き続き好調な景気に支えられ、鉱山市場及びビル設備市場の売上高は堅調に推移しましたが、レンタル市場及び建設市場において一部地域で干ばつの影響を受け、工事用製品の需要が低迷しました。

アジア市場におきましては、新興国の通貨安の影響等により購買力が低下した結果、需要が足踏み状態となり売上高は減少しました。

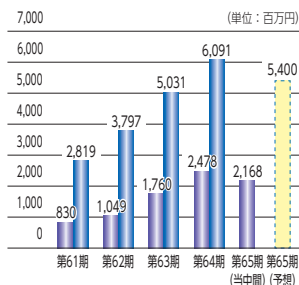
これらの結果、売上高は、48億2百万円と前年同期比13.5%の減少となりました。

■ 連結 (中間) ■ 連結 (通期)

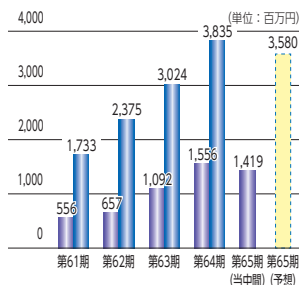
●売上高



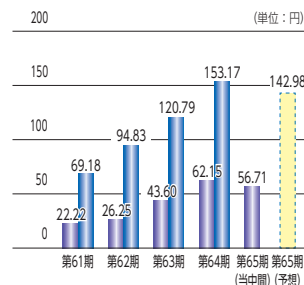
●経常利益



●親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益



●1株当たり中間 (当期) 純利益



Topics

■ 展示会出展のご報告

当社は国内外で開催される展示会へ積極的に出展しております。写真は、日本『下水道展'15東京』、アメリカ『WEFTEC』、フランス『INTERMAT Paris』、フィリピン『WATER PHILIPPINES』における出展ブースの様子です。

左上：下水道展'15東京

左下：WEFTEC

右上：INTERMAT Paris

右下：WATER PHILIPPINES

土木建設、鉱山、下水道技術・汚水処理、環境関連とテーマも様々であり、海外においては現地社員及び販売代理店の協力のもと企画し推進しております。展示会への出展は当社製品を数多くのご来場者様へアピールできるだけでなく、コミュニケーションを図る絶好の機会ともなります。今後ともグローバルな企業活動に邁進してまいります。



●中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成26年9月30日現在)	当中間期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	32,358	35,472	37,497
固定資産	25,250	25,430	25,456
有形固定資産	11,777	11,673	11,831
無形固定資産	651	600	647
投資その他の資産	12,822	13,156	12,977
Point① 資産合計	57,609	60,902	62,954
負債の部			
流動負債	9,251	8,520	10,741
固定負債	2,002	2,341	2,554
Point② 負債合計	11,254	10,861	13,296
純資産の部			
株主資本	43,531	46,478	45,559
資本金	5,188	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896	7,896
利益剰余金	32,847	35,795	34,875
自己株式	△ 2,400	△ 2,401	△ 2,401
その他の包括利益累計額	2,092	2,654	3,230
その他有価証券評価差額金	1,360	1,298	1,686
為替換算調整勘定	750	1,300	1,473
退職給付に係る調整累計額	△ 18	54	70
非支配株主持分	730	907	867
Point③ 純資産合計	46,354	50,040	49,657
負債純資産合計	57,609	60,902	62,954

Point① 資産合計

資産につきましては、60,902百万円と前連結会計年度末に比べ2,052百万円減少しました。
これは、主に受取手形及び売掛金が4,027百万円減少し、現金及び預金が1,515百万円増加したことによるものです。

●中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	18,442	17,691	41,936
売上原価	12,493	11,501	28,644
売上総利益	5,948	6,190	13,292
販売費及び一般管理費	3,978	4,208	8,359
営業利益	1,970	1,981	4,932
営業外収益	535	367	1,232
営業外費用	27	180	74
経常利益	2,478	2,168	6,091
税金等調整前中間(当期)純利益	2,478	2,168	6,091
法人税、住民税及び事業税	729	632	2,106
法人税等調整額	119	88	12
中間(当期)純利益	1,628	1,447	3,972
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	72	27	136
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,556	1,419	3,835

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,330	2,259	3,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 105	△ 124	△ 507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 416	△ 540	△ 761
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	△ 79	414
現金及び現金同等物の増加額	1,919	1,515	2,222
現金及び現金同等物の期首残高	5,967	8,190	5,967
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	7,887	9,705	8,190

Point② 負債合計

負債につきましては、10,861百万円と前連結会計年度末に比べ2,434百万円減少しました。
これは、主に支払手形及び買掛金が1,599百万円、未払法人税等が407百万円それぞれ減少したことによるものです。

Point③ 純資産合計

純資産につきましては、50,040百万円と前連結会計年度末に比べ382百万円増加しました。
これは、主に利益剰余金が919百万円増加し、その他有価証券評価差額金が387百万円、為替換算調整勘定が173百万円それぞれ減少したことによるものです。

商 号  株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

大阪本店 〒538-8585
大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
TEL (06) 6911-2351 (代)
東京本社 〒110-0016
東京都台東区台東1丁目33番8号
TEL (03) 3833-9765 (代)

創 業 大正13年(1924年) 1月 5 日
設 立 昭和23年(1948年) 2月12日
資本金 51億88百万円
従業員 985名 (グループ計)
(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売（輸出入を含む）並びに賃貸を行っており、それに附随する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役 員

代表取締役社長	辻 本 治
専 務 取 締 役	芝 上 英 二
取締役常務執行役員	田 中 中 勝
取締役常務執行役員	野 西 田 勝
取締役執行役員	中 田 西 村 武
取締役執行役員	西 田 西 村 浩
取締役執行役員	織 田 田 孝
取締役執行役員	上 田 田 孝
取締役執行役員	掛 川 川 雅
取締役執行役員	窪 田 田 泰
取締役執行役員	下 田 田 剛
取締役執行役員	鞠 山 田 正
取締役執行役員	山 田 田 晴
取締役執行役員	辻 山 田 優
取締役執行役員	足 立 宗 一
取締役執行役員	高 田 功 二
常 勤 監 査 役	駒 澤 賢 二
監 査 役	鹿 内 茂 行
監 査 役	田 中 祥 博

(注1) 取締役掛川雅仁氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注2) 監査役鹿内茂行氏及び田中祥博氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

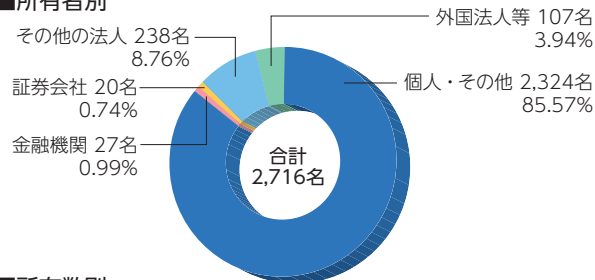
●発行可能株式総数 100,000,000株
●発行済株式の総数 27,829,486株
●株 主 数 2,716名
●大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有 限 会 社 ツ ル ミ 興 産	1,904	7.61
ツ ル ミ 共 栄 会	1,558	6.23
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	1,242	4.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	944	3.77
株 式 会 社 三 菱 東 京 UJ 銀 行	700	2.80
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	669	2.67
デ ン ヨ ー 株 式 会 社	648	2.59
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	591	2.36
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	535	2.14
株 式 会 社 有 伸 興 産	518	2.07

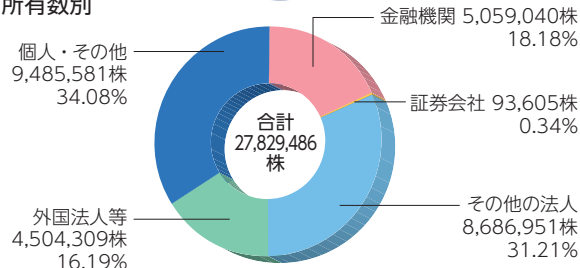
(注) 当社は自己株式2,790千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の状況

■所有者別



■所有数別



多重板型 スクリーンプレス脱水機

高効率な独自の濃縮・脱水工程のMDQ型。
さらに汚泥サービスタンクレスとしたMDC型。



脱水状況



脱水ケーキ

MDQ型

スクリーン径：φ100mm・φ200mm

処理能力：3～90kgDS/h

動力：0.6～2.9kW

※いずれも処理能力は、汚泥性状、濃度により変動があります。

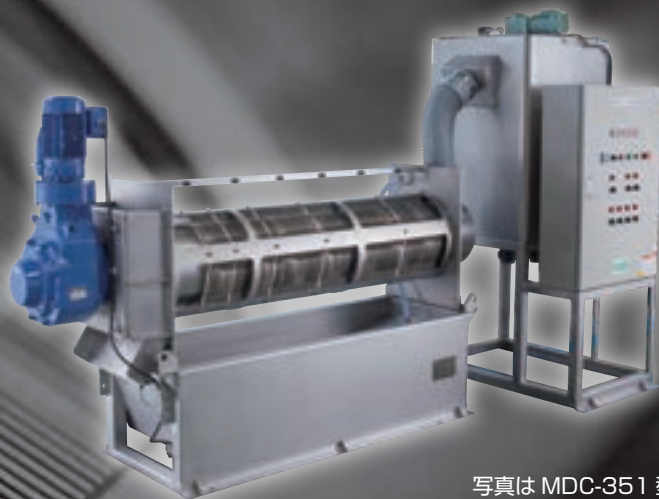
MDC型

スクリーン径：φ100mm・φ200mm・φ350mm

処理能力：6～216kgDS/h

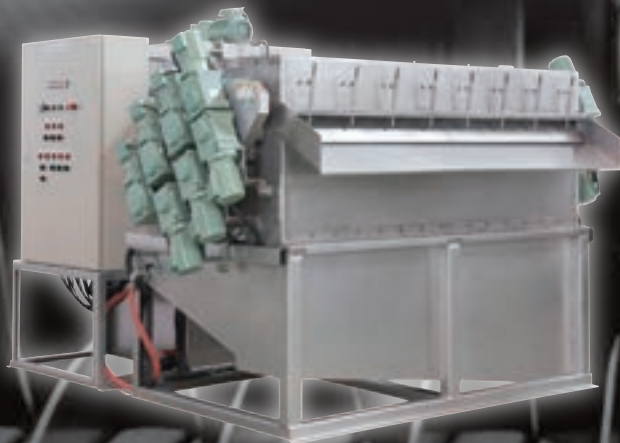
動力：0.4～3.75kW

MDQ/MDC型



写真は MDC-351 型

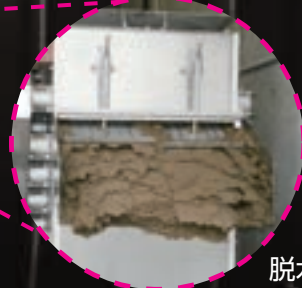
JD型



写真は JD-2000 型
(10月16日発売開始)

多重円板型脱水機

多軸駆動で効率よく安定した脱水工程のJD型。



脱水ケーキ

JD型

ろ体幅：500mm・750mm・1000mm・2000mm

処理能力：12～160kgDS/h

動力：1.65～3.25kW

※処理能力は、汚泥性状、濃度により変動があります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネット ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

単元(100株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社では、単元株式(100株)に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」、単元株式に不足する株式を買増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

買増制度例



買取制度例



お手続きについて

単元未満株式が記録されている口座によって、お手続きの窓口が異なります。

1. 証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
2. 特別口座に記録されている単元未満株式
当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意事項

買増、買取単価は、そのご請求が当社株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格です。

ホームページのご案内

<http://www.tsurumipump.co.jp/>



会社内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。